

県立高校の発展的統合について

北野 少子化による生徒数の減少などを背景に県立高校の発展的統合が進められている。様々な課題等を踏まえつつ、統合後の学校や生徒、地域などに対するフォローをどのように考えているのか？

教育長 発展的統合の各校では、これまでの特色を踏まえながら新学科の設置も含め、特色ある学校設定科目など多様な進路実現を目指す教育課程を編成する。地域と連携した探求活動を展開し、次代を支える人材育成を図っていく。

サイバー攻撃事案への対策

北野 国内外を問わず、サイバー攻撃が発生しており、対策は喫緊の課題。手口も多様化、巧妙化しており、県民の命・財産を守る県警察としての使命を果たさなければならない。対策は？

警察本部長 サイバー攻撃対策隊を設置し、捜査を推進している。加えて、捜査等で得られた情報を事業者等と共有するなど被害の未然防止・拡大防止に向けた取り組みを行っている。今後も全国警察や事業者等と連携強化を図りながら対策を推進する。

姫路の東玄関口 山陽姫路東IC周辺環境整備



令和8年、播但連絡道花田インター北東に道の駅姫路(仮)が誕生する予定です。インバウンドの影響もあり観光バスなども頻りに訪れることが期待されます。一方で、周辺の道路は、雑木等の繁茂により視界が確保できず、交通量が増えることで事故のリスクが増大することが懸念されます。このため、雑木や雑草の除去を要請、NEXCO西日本の協力も得て実施されました。見通しが良くなり交通事故もかなり防ぐことができます。

香寺町犬飼公民館前の信号機設置が完了



国道312号線の犬飼公民館前は、通学中の小学生が交通事故に遭うなど安全に横断できる環境の確保が大きな課題であり、地域住民の悲願でした。北野県議も地元からの悲痛な思いに応えるべく何度も姫路署と打合せ、現地調査も含め姫路署との一つ一つ丁寧な課題解決により少しずつ前進し、一般信号は困難なため、通学路を変更し、歩行者専用の押しボタン式に切り替えて設置が完了しました。昨年、姫路市内で信号機の新設はゼロ(※道路整備に付属する信号機新設は別)。設置条件も年々厳しくなっていく中で地域の方々が一歩となり実現することができました。

兵庫県議会議員 **北野実** きたのみのる

No.30 令和7年3月 県政レポート 実の目

発行所：北野実事務所

兵庫県議会自由民主党議員団幹事長として 第370回定例県議会 代表質問に登壇



地球規模で自然災害が相次ぎ、戦争や政治的な争いなど人々の心の分断に危機感を感じます。国内でも物価高騰が生活に影響をおよぼし、治安悪化も懸念されています。変化の激しい時代を迎え、住民ニーズも複雑多様化していますが、それをしっかりと受け止め、安全安心を基盤に明るい未来へと社会を導くことが政治家の使命だと改めて胸に刻んでいます。

兵庫県政においては、昨年3月の文書問題に端を発した混乱が未だ収束したとは言い難い状況にあります。SNSによる誹謗中傷は今も相次いでいます。私たち議員は、全県民の民意と向き合い、対立や分断を生じさせようとする真偽不明の情報に煽られることなく、対話と協調のもと、いち早く県政混乱を収束させ、県政を前に進めることが重要であり、それこそが全ての県民が望んでいることと確信しています。

市民の声を予算編成で実現！実行力を発揮！！

県民の期待に応える県政推進のため、令和7年度は極めて重要な一年になります。その指針・基盤となる令和7年度予算案を第370回2月定例議会で可決することができました。県政が混乱状況にある中、県議会最大会派の自民党議員団幹事長として会派内の様々な意見をまとめ、他会派との調整に取り組みました。2月25日には自民党議員団を代表して質問に立ち、その概要を2～4面に掲載いたしましたのでご一読ください。

これからも人と人を繋ぐ誠実さをもって対話と現場主義に徹し、県民の思い、願いをしっかりと受け止め、県政に届け、より開かれた政策議論によって、実行・実現し、県政への信頼回復に誠心誠意努力してまいります。そして、県民だれもが故郷への誇りをもって、明日へと未来へと歩む兵庫の実現に全力を尽くす決意です。一層のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

兵庫県議会議員 **北野実**

姫路野球協会会長として

自民党議員団幹事長として

本気でヤル気 活動写真館 Autumnr ~ Winter 繋がりと絆の現場から

防炎訓練に参加

猟友会定時総会

東洋大姫路の名将・岡田監督と春のセンバツ出場を語る

YouTube ミノルチャンネル

命を守る政治

Facebook Instagram

北野実 プロフィール

1959(昭和34)年7月19日生 A型

姫路市立東小学校 / 姫路市立東光中学校

兵庫県立姫路西高校 / 立正大学経営学部

姫路野球協会会長 / 自民党姫路支部幹事長

姫路市議会議員：(H15～)

兵庫県議会議員：(H19～)

好きな言葉：不易 流行 ぶえきりゅうこう

地域のお困りごと、お気軽にご相談ください。兵庫県議会議員・北野実事務所 住所：姫路市神屋町3-37-4 電話：079-288-8182

令和7年度県当初予算 総額4兆5,150億円

福祉、教育、道路・公園の整備など、県の基本的な事業を行う一般会計は**2兆3,582億円**

次の4つの柱で施策を展開します

誰も取り残さない安全安心な兵庫 若者が輝く兵庫 活力がわきあがる兵庫 県政運営基盤の構築



第370回 2月定例県議会で代表質問

令和7年度県政へ実行力発揮!!



令和7年度予算編成に向け申入書を知事に提出

当初予算編成の評価と今後の財政運営

北野 知事は1期目の3年間において、行財政改革に取り組んでこられた。結果、令和5年度決算では財政基金残高は大震災以降約30年ぶりに目標額の100億円を超え、127億円となった。県政改革方針実施計画に基づく事務事業の見直し、効率化などによる成果だと評価する。しかし、まだまだ財政上の課題は山積している。そのような中、今回、令和7年度当初予算が編成された。一般会計は昨年度比192億円の増で0.8%の伸びとなっている。2期目の齋藤県政がスタートし初めての当初予算編成となるが、その評価と今後の財政運営について所見を伺う。

知事 どこよりも安全安心で、夢や活力にあふれ、新たな躍動が広がる兵庫の実現に向け予算編成を行った。取り組みの基盤となるのが県政改革。農林機構の債務整理など、将来世代に課題を先送りすることなく、未来志向の姿勢で着実に改革を進める。引き続き厳しい財政環境が続くが、緊張感をもって財政運営にあたり、新たなステージに向けて、積極的な施策展開を図る。

若者・Z世代応援パッケージについて

北野 若者・Z世代応援パッケージにおける県立大学授業料等無償化は、公平性、持続性、波及性・実現可能性、実効性などの観点から様々な議論を行ってきた。今回の県政改革方針の変更案では、事業費を安定的に確保するための基金の創設や、5年程度ごとを目途に事業評価を実施していくとの指針が示されたが、改めて施策効果をより高めるためにどうブラッシュアップし、兵庫の成長・発展の実現を目指していくのか伺う。

知事 若年層の県内定着など県民への効果も踏まえながらブラッシュアップしていく。他の事業費を圧迫せず、各年度の事業費を安定的に確保するため基金を設置する。人口減少化でも兵庫が成長・発展するために未来を担う若者が希望を持ち活躍できる環境づくりを進める。



若者の声を県政に届けています

大阪・関西万博を契機とした観光戦略

北野 万博は日本や関西の魅力を全世界に発信する絶好の機会であり、観光客の増大、地域経済活性化の「起爆剤」としなければならない。本県は兵庫五国の活動の現場そのものを地域住民が主体となって発信する「ひょうごフィールドパビリオン」を展開している。万博の恩恵は一過性のものとせず、閉幕後のレガシーの継承も重要。アフター万博を見据え、既存のフィールドパビリオンの活用を含めた兵庫の観光戦略は？

知事 来年度の新観光戦略の中間見直しの中で、アフター万博を見据えた兵庫観光の目指すべき姿を描き、観光やビジネスを意識したより実効性の高い施策に繋げる。国内外からの訪問客を着実に伸ばし、より深く、何度でも訪れたいHYOGOを実現する。



フィールドパビリオンの一つ姫路市の坊勢島を訪問

パラスポーツの発展・振興

北野 昨年5月の神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会は、大成功のうちに幕を閉じた。大会のレガシーを継承していく上でも、障害のある方が十分にスポーツに取り組むことができる施設等の環境整備が必要。神戸市西区に計画されている「ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)」の整備を含め、機運の盛り上げや裾野拡大にどのように取り組むのか？

知事 令和6年度からパラスポーツの環境整備に向け、ハード・ソフトの両面から議論する検討会を開催している。引き続き、指摘の障害者総合トレーニングセンターを含めた全県拠点施設のあり方や、競技ごとの圏域拠点のあり方等を検討していく。ユニバーサル社会の実現に企業や市町と連携し、普及・振興に取り組む。



昨年5月、神戸で開催された世界パラ陸上競技選手権大会

阪神・淡路大震災30年を迎えて

(1) 防災先進県としての責任について

北野 震災を経験した者の減少は避けられないが、将来にわたって震災の経験と教訓から得た知見を活かすことで、県民意識の向上や防災面での地域コミュニティの充実、ひいては災害に強い兵庫、社会

の構築に繋げていくべきである。また、国では防災庁設置の準備を進めている。本県では12月定例県議会で防災庁の拠点を本県に設置することを求める意見



子どもたちも参加する防災訓練などを通じて震災の経験・継承に繋がります

書を採択した。そこで、防災先進県としての責任をどのように捉え、これからの防災・減災対策に活かしていくのか？

知事 若者が参画する防災・減災活動への支援拡充など世代、地域を超えて継承していく。あわせて防災リーダーの養成など地域防災力の強化を図る。防災庁の設置については、本県が有する機能や実績を活かし、県内設置を求める。

(2) 災害に強い県土づくりについて

北野 石破首相は通常国会の施政方針演説で「防災・減災、国土強靱化を着実に推進する」とし、15兆円程度の事業規模で実施中の5か年加速化対策を上回る水準が適切との考え方に立ち、令和8年度からの実施中期計画について本年6月を目途に策定する方針を打ち出した。南海トラフ地震の30年

以内の発生確率が80%程度に引き上げられ、巨大地震がいつ起きても不思議ではないフェーズに入りつつあることを踏まえると国のバックアップは非常に心強いと感じるところである。そこで、県内における防災・減災、国土強靱化による対策の評価と、国の動向を踏まえた今後の更なる対策について、当局の所見を伺う。

副知事 南海トラフ地震に備える津波対策を概ね完了させた。東播磨道が今年秋ごろに全線供用するなど災害時の物資輸送を支える高規格道路ネットワークの構築でも成果を得られた。2月に公表された国土強靱化実施中期計画の策定方針では、気候変動に対応した流域治水対策、南海トラフ地震等の巨大地震対策、インフラ老朽化への対応等の施策が盛り込まれている。県もこれに沿って強靱な県土構築の更なる充実を図る。

有機農業の更なる普及拡大

北野 本県では有機農業を含む環境創造型農業の推進や若者・新しい担い手の挑戦を促すことに注力され、取り組みに期待している。そこで、有機農業の更なる普及拡大に向けて、今後どのように取り組もうとしているのか？

知事 関係者と連携し、生産対策と流通・消費の出口対策も両輪で、経営として成り立つ有機農業の取り組みを拡大する。こうした取り組みを下支えする条例制定に向け検討を進める。

